

九州木質バイオマス発電連携協議会（熊本県熊本市）

R5 補正
R6 当初

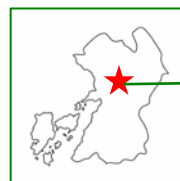
71

背景・課題

木質バイオマス発電は、発電コストの大部分を燃料の調達コストが占め、昨今、燃料調達価格が上昇傾向にあることから、事業継続の見通しが悪化している状況。

代替燃料として、地域で未利用となっている「竹」の活用が考えられるが、「伐採や輸送コスト」、「燃料加工時のチップー等の破損」、「燃焼時のクリーナーの発生」等の課題があり、これまで利用ができていなかった。

「竹」の燃料利用が実現すれば、林地や農地等への「竹」の侵入による被害が軽減され、農村環境の保全管理にも寄与することが期待される。



熊本市

構 成 員

九州木質バイオマス発電連携協議会 会員

品 目

成果目標

木質バイオマス発電所で「竹」を混合燃焼する際の課題、対応策を検討・整理する。

主な取組内容

本事業は、九州地方の木質バイオマス発電所の安定経営と技術向上を目的に設置された九州木質バイオマス発電連携協議会の会員で、熊本県内に拠点を置く5社（発電事業者、燃料供給事業者等）と「竹」の燃焼実証実績のある発電事業者が中心となって、「竹」の混合燃焼に向けた現地調査や燃焼実証試験等により課題を把握、協議会において課題の対応策等を検討しており、今後、得られたノウハウを会員企業の地域で共有する。

調達

- ①「竹」の収集・運搬方法の調査
- ②燃料加工に関する調査

生産

- ③プラント運用時の影響、燃焼効果検証
- ④「竹」の混合燃焼による実現性の確認

実施主体：九州木質バイオマス発電連携協議会（会員企業15社）



枕崎バイオマスエナジー合同会社（「竹」の燃焼実績）

熊本県内に工場・拠点がある5社



日本フォレスト(株)

⇒ 原料調達調査への協力



(株)有明グリーンエネルギー

⇒ 混合燃焼試験の実施
原料調達調査への協力



(株)九州バイオテック

⇒ 試験用燃料供給への協力



熊本錦グリーンパワー

⇒ 原料調達調査への協力



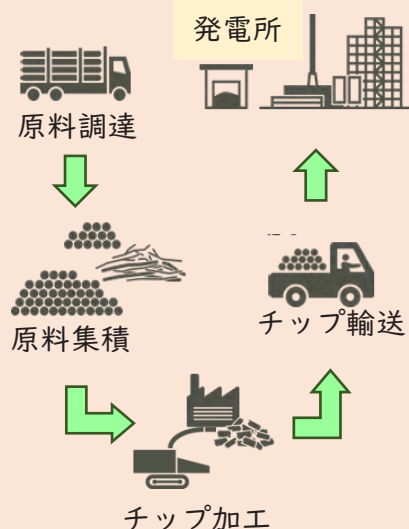
(株)森のエネルギー研究所

⇒ 調査、分析、とりまとめ

実施体制

普及に向けた取組

「竹」を木質バイオマス発電所で混合燃焼できることを明らかにし、需要先を創出することで「竹」のサプライチェーンの構築を目指す。



フロー

問い合わせ先

九州木質バイオマス発電連携協議会

（株式会社森のエネルギー研究所 九州営業所）

電話：090-2150-3833 mail：sato@mori-energy.jp